

# WordPress の バックアップと SSL 化 【パーフェクトガイド】





## はじめに

### 【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。（無料）

<http://get.adobe.com/jp/reader/>

### 【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。

下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。





## 目次

はじめに.....	2
自己紹介.....	4
<b>第 1 章 : WordPress のバックアップ.....</b>	<b>5</b>
(1) 「BackWPup」のインストール.....	5
(2) 「BackWPup」の使い方.....	6
<b>第 2 章 : WordPress の復元作業.....</b>	<b>15</b>
(1) サーバー上のファイルデータを復元する.....	15
(2) データベースのデータを復元する.....	16
(3) 復元した WordPress の動作確認.....	20
<b>第 3 章 : X サーバーの WordPress を SSL 化する.....</b>	<b>21</b>
(1) X サーバーの SSL 設定.....	23
(2) WordPress の SSL 設定.....	29
(3) https への転送設定(.htaccess 編集).....	31
<b>第 4 章 : SSL 化できているか確認する方法.....</b>	<b>39</b>
<b>第 5 章 : 「Search Regex」の使い方.....</b>	<b>41</b>
<b>第 6 章 : SSL 化に伴う、広告タグの貼り替え作業.....</b>	<b>45</b>
(1) 1つずつ手作業での広告貼り替え作業になる.....	46
<b>第 7 章 : Search Console で、サイトの削除と追加.....</b>	<b>47</b>
<b>第 8 章 : Google Analytics の設定変更.....</b>	<b>48</b>
終わりに.....	50
オウンドメディアについて.....	51





## 自己紹介

はじめまして、**マクシミリアン**です。

私は現在、オウンドメディア構築のプロとして、  
アフィリエイトなどを人に教えています。

PPC や Facebook 広告などの広告系は苦手分野ですが、  
アフィリエイト歴は、10 年以上になるベテラン選手です。

### 【専門分野】

- ・オウンドメディア
- ・アドセンス
- ・ブログアフィリエイト
- ・情報教材作成および販売
- ・コンサルタント
- ・一人起業マネタイズ

初期投資のいらぬアフィリエイト手法が得意で、  
どう転んでもマイナスにならないやり方を追求している。

もし、私のノウハウに興味があるなら、  
ブログからでも、メルマガ登録をしてみてください。

⇒[オウンドメディアで戦略的アフィリエイト](#)





## 第 1 章 : WordPress のバックアップ

まず、サイトの SSL 化をする前にバックアップを取る必要があります。

SSL 化に失敗して、全部のデータが消えた人もいますので、万が一に備えて、面倒でもバックアップは行ないましょう。

一応、「**X サーバー**」でサーバーを契約してある前提で話を進めますので、それ以外のサーバーの方は、手順が異なる事を了承下さい。

### (1) 「BackWPup」のインストール

バックアップを取る WordPress のダッシュボードに入って下さい。

「プラグイン」→「新規追加」をクリックし、右上に「BackWPup」と入力して、「**今すぐインストール**」をクリック

The screenshot shows the WordPress dashboard's 'Add Plugins' section. On the left sidebar, 'プラグイン' (Plugins) is selected, and '新規追加' (Add New) is highlighted. The main content area shows a search for 'BackWPup'. The search results list two plugins: 'BackWPup - WordPress Backup Plugin' and 'UpdraftPlus WordPress Backup Plugin'. The 'BackWPup' entry has a red box around its '今すぐインストール' (Install Now) button. The 'UpdraftPlus' entry also has an '今すぐインストール' button. The 'BackWPup' entry includes a description: 'あなたの WordPress の完全自動バックアップを予約します。保存するコンテンツを決めます (Dropbox, S3 ...)。これは無料版です。' and the author 'Inpsyde GmbH'. The 'UpdraftPlus' entry includes a description: 'バックアップと復元を簡単に。手動または自動予約 (S3, Dropbox, Google ドライブ, Rackspa...' and the authors 'UpdraftPlus.Com, DavidAnderson'. The 'BackWPup' entry has a 5-star rating (2,696 reviews) and a '最終更新: 7日前' (Last updated: 7 days ago) label.





「有効化」をクリック



**BackWPup – WordPress Backup Plugin**

あなたの WordPress の完全自動バックアップを予約します。保存するコンテンツを決めます (Dropbox、S3 ...)。これは無料版です。

作成者: *Inpsyde GmbH*

**有効化**  
詳細情報

## (2) 「BackWPup」の使い方

「BackWPup」の「新規ジョブを追加」をクリック



メディア  
固定ページ  
CTA  
コメント 6  
外観  
プラグイン  
ユーザー  
ツール  
設定

BackWPup

ダッシュボード  
ジョブ  
**新規ジョブを追加**  
ログ  
バックアップ  
設定  
BackWPup について



3 Mio Downloads

# BackWPup

## BackWPup へようこそ

バックアップアーカイブを使って /wp-content/ を含む WordPress インストール全体を守りましょう。同じサーバーにバックアップを保存したくない場合は外部のストレージサービスへ送りましょう。バックアップアーカイブ1つでインストールを復元できます。phpMyAdmin のようなツールを使ってデータベースバックアップファイルを復元してください。

バックアップジョブの準備はできましたか？ウィザードを使用して保存を計画します。





一般の「このジョブの名前」には好きな名前を付けて下さい。  
ここでは「バックアップ」と名付けます。

「ジョブタスク」と「アーカイブ名」はデフォルトのままで OK です。

### BackWPup > ジョブ: バックアップ

一般 スケジュール DB バックアップ ファイル プラグイン

#### ジョブ名

このジョブの名前

#### ジョブタスク

このジョブは...

- データベースのバックアップ
- ファイルのバックアップ
- WordPress の XML エクスポート
- インストール済みプラグイン一覧
- データベーステーブルをチェック

#### バックアップファイルの作成

アーカイブ名

Note: In order for backup file tracking to work, %hash% must be included anywhere in the archive name.  
Preview: 2017-11-02\_01-20-34\_%hash%.zip

置換パターン:  
%d = 先行ゼロを2つの月の桁の日  
%j = 先行ゼロなしの月の日  
%m = 先行ゼロと日  
%n = 月の表現 (先行ゼロなし)  
%Y = 年を4桁表記  
%y = 年を2桁表記





「アーカイブ形式」は、デフォルトの「Zip」で OK です。

「バックアップファイルの保存方法」は、

「**フォルダーへバックアップ**」をチェックして下さい。

「**変更を保存**」をクリック

**アーカイブ形式**

Zip

Tar

Tar GZip

Tar BZip2

**ジョブの伝送先**

**バックアップファイルの保存方法**

**フォルダーへバックアップ**

メールでバックアップを送信

FTP にバックアップ

Dropbox にバックアップ

S3 サービスにバックアップ

Microsoft Azure にバックアップ (Blob)

Rackspace のクラウドファイルにバックアップ

SugarSync にバックアップ

**ログファイル**

**ログの送信先メールアドレス**

空にするとログを送信しません。また、複数の受信者を設定するにはコンマで区切ります。

**メールの送信元**

**エラー**

ジョブの実行中にエラーが発生した場合にのみログをメールで送信

**変更を保存**





このバックアップを手動ではなく、自動で行なうには設定が必要です。

スケジュールから「WordPress の cron」をチェックする。

スケジューラーで「毎月」をチェックして、

「変更を保存」をクリック

BackWPup > ジョブ: バックアップ

一般 **スケジュール** DB バックアップ ファイル プラグイン 宛先: フォルダー

### ジョブスケジュール

ジョブの開始方法

手動

WordPress の cron

EasyCron.com で - まず [API キー](#) を設定してください。

リンク [http://](#)   
外部スタート用にリンクをコピーしてください。リンクを働かせるにはこのオプションが有効でなければなりません。

CLI を使用してジョブを開始 コマンドラインからジョブを実行するために [WP-CLI](#) を使用する。

### 実行時間をスケジュール

次の実行時間: 金, 12月 2017, 03:00

スケジューラーの種類

基本

高度

スケジューラー

タイプ	時間	分	
<input checked="" type="radio"/> 毎月	日付: 1 ▾	3 ▾	0 ▾
<input type="radio"/> 毎週	日曜日 ▾	3 ▾	0 ▾
<input type="radio"/> 毎日	3 ▾	0 ▾	
<input type="radio"/> 毎時			0 ▾

**変更を保存**





DB バックアップは、何もいじらなくてデフォルトで OK です。

BackWPup > ジョブ: バックアップ

一般 スケジュール **DB バックアップ** ファイル プラグイン 宛先: フォルダー

### データベースのバックアップの設定

バックアップするテーブル

<input checked="" type="checkbox"/> wp_commentmeta	<input checked="" type="checkbox"/> wp_postmeta
<input checked="" type="checkbox"/> wp_comments	<input checked="" type="checkbox"/> wp_posts
<input checked="" type="checkbox"/> wp_links	<input checked="" type="checkbox"/> wp_term_relationships
<input checked="" type="checkbox"/> wp_options	<input checked="" type="checkbox"/> wp_term_taxonomy
<input checked="" type="checkbox"/> wp_termmeta	
<input checked="" type="checkbox"/> wp_terms	
<input checked="" type="checkbox"/> wp_usermeta	
<input checked="" type="checkbox"/> wp_users	

バックアップファイル名  .sql

バックアップファイルの圧縮  なし  GZip





ファイルも、何もいじらなくてデフォルトで OK です。

### BackWPup > ジョブ: バックアップ

一般   スケジュール   DB バックアップ   **ファイル**   プラグイン   宛先: フォルダー

#### バックアップするフォルダー

WordPress をインストールしたフォルダーをバックアップ  /home/painpain/pc-gadget.com/public\_html  
除外:  
 wp-includes  
 wp-admin

コンテンツフォルダーをバックアップ  /home/painpain/pc-gadget.com/public\_html/wp-content  
除外:  
 languages  
 upgrade

プラグインのバックアップ  /home/painpain/pc-gadget.com/public\_html/wp-content/plugins  
除外:  
 wp-multibyte-patch  
 addquicktag  
 taxonomy-terms-order  
 google-sitemap-generator  
 akismet  
 backwpup  
 table-of-contents-plus

テーマのバックアップ  /home/painpain/pc-gadget.com/public\_html/wp-content/themes  
除外:  
 kaetenwp  
 twentyfourteen  
 twentyfifteen  
 twentysixteen





プラグインも、何もいじらなくてデフォルトでOKです。

BackWPup > ジョブ: バックアップ

一般 スケジュール DB バックアップ ファイル **プラグイン** 宛先: フォルダー

プラグイン一覧のファイル名

ファイルの圧縮

なし

GZip

BZip2

**変更を保存**

宛先: フォルダーでは、「ファイルを削除」を「4」(4ヶ月分)にします。

「変更を保存」をクリック

BackWPup > ジョブ: バックアップ

一般 スケジュール DB バックアップ ファイル プラグイン **宛先: フォルダー**

バックアップ設定

バックアップを格納するフォルダー

ファイルを削除  フォルダー内に保持するファイルの数

注意: このジョブに含まれるファイルは追跡されます。追跡されない過去のアーカイブは自動的に削除されません。

**変更を保存**





設定が終わったので、「BackWPup」→「ジョブ」とクリックし、  
先ほど設定したジョブで「今すぐ実行」をクリック

BackWPup > ジョブ [新規追加](#)

一括操作 ▾ 適用

<input type="checkbox"/> ジョブ名	タイプ	宛先	次回の実行	前回の実行
<input type="checkbox"/> バックアップ <a href="#">編集</a>   <a href="#">コピー</a>   <a href="#">削除</a>   <b>今すぐ実行</b>	DB バックアップ ファイル プラグイン	フォルダー	無効	未
<input type="checkbox"/> ジョブ名	タイプ	宛先	次回の実行	前回の実行

一括操作 ▾ 適用

ダッシュボード  
**ジョブ**  
新規ジョブを追加  
ログ

バックアップが完了するので、「閉じる」をクリック

BackWPup > ジョブ [新規追加](#)

警告: 0 エラー: 0

100%  
ジョブ完了

100%  
ジョブは25秒で完了しました。

[ログを表示](#) **閉じる**





「BackWPup」→「バックアップ」とクリックし、  
先ほどバックアップを実行したジョブで「ダウンロード」をクリック

BackWPup > バックアップ アーカイブを管理

時間	ファイル	フォルダー	サイズ
2017年11月 2日 01:28	2017-11-02_01-27-49_NLY...zip 削除 <b>ダウンロード</b>	/home/...com/public_html/wp-content/uploads/backwpup-...-backups/	66.12 MB

これで WordPress のバックアップを **自分の PC** にダウンロードできました。

解凍すると、次のようなファイル群になっています。

名前	更新日時	種類	サイズ
wp-admin	2017/11/02 1:31	ファイル フォルダー	
wp-content	2017/11/02 1:31	ファイル フォルダー	
wp-includes	2017/11/02 1:32	ファイル フォルダー	
.htaccess	2017/11/02 1:27	HTACCESS ファイル	1 KB
backwpup_readme	2017/11/02 1:27	テキストファイル	1 KB
default_page	2017/11/02 1:27	PNG ファイル	7 KB
index.php	2017/11/02 1:27	PHP ファイル	1 KB
license	2017/11/02 1:27	テキストファイル	20 KB
manifest.json	2017/11/02 1:27	JSON ファイル	5 KB
...sql	2017/11/02 1:27	SQL ファイル	7,912 KB
...pluginlist.2017-11-02	2017/11/02 1:27	テキストファイル	2 KB
readme	2017/11/02 1:27	Chrome HTML Do...	8 KB
wp-activate.php	2017/11/02 1:27	PHP ファイル	6 KB
wp-blog-header.php	2017/11/02 1:27	PHP ファイル	1 KB
wp-comments-post.php	2017/11/02 1:27	PHP ファイル	2 KB
wp-config.php	2017/11/02 1:27	PHP ファイル	4 KB
wp-config-sample.php	2017/11/02 1:27	PHP ファイル	4 KB
wp-cron.php	2017/11/02 1:27	PHP ファイル	4 KB





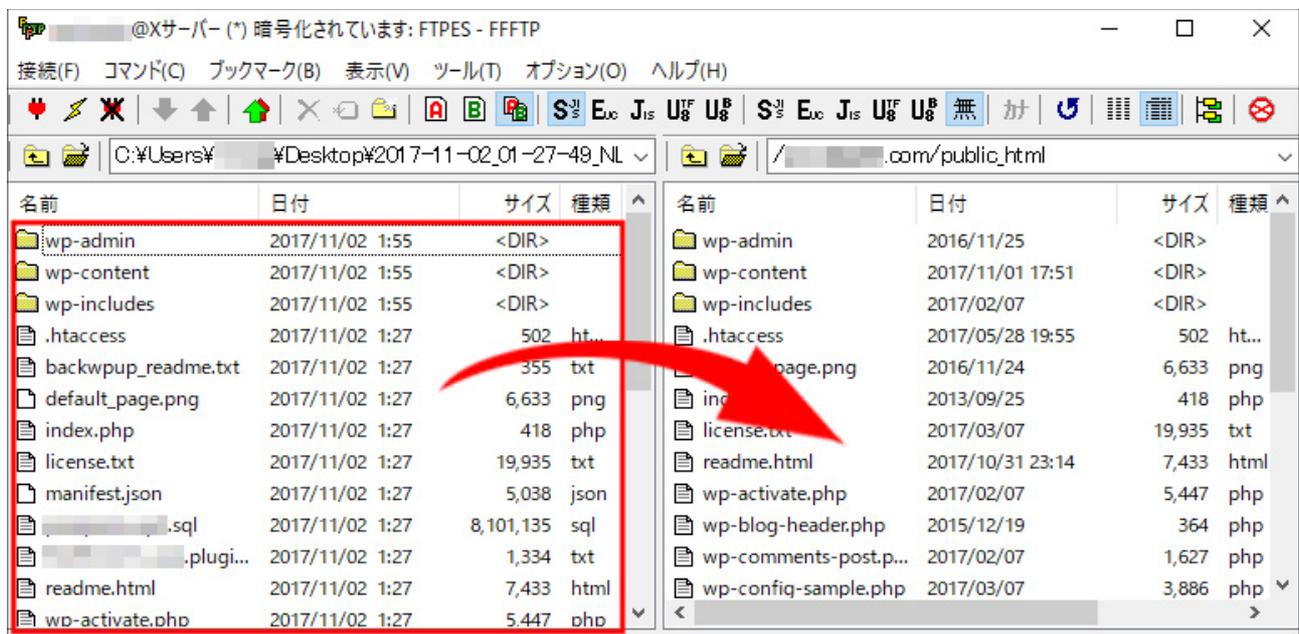
## 第 2 章 : WordPress の復元作業

前章の手順通りにやれば、バックアップは取れているはずですが。

サイトの SSL 化がうまくいけば、この復元作業は不要となりますが、  
どのような手順で復元するのかを確認しておきましょう。

### (1) サーバー上のファイルデータを復元する

バックアップしたファイルデータを「FFFTP」などの FTP ソフトを使って、  
サーバーにある、復元させたいドメインの「**public\_html**」にアップロードします。



基本的に全てのファイルをアップロードするのですが、  
「backwpup」で始まるファイル、「manifest.json」などは不要です。





## (2) データベースのデータを復元する

サーバー上のファイルデータは復元できたので、  
あとは「[phpMyAdmin](#)」を使って、データベースの復元作業を行ないます。

「[phpMyAdmin](#)」は、レンタルサーバーでデータベースを管理し、  
ワードプレスなどのサーバー専用の「SQL」を操作できるツールです。

では、Xサーバーのサーバーパネルにログインして下さい。

Xサーバーのサーバーパネル

[https://www.xserver.ne.jp/login\\_server.php](https://www.xserver.ne.jp/login_server.php)

「[ログイン](#)」をクリック

The screenshot shows the XSERVER website's login page. At the top, there is a navigation menu with links for Home, Features, Functions, Pricing, Application, Manual, Support, and Login. Below this is a secondary menu with 'ログイン', 'インフォパネル', 'サーバーパネル', 'ファイルマネージャ', and 'WEBメール'. The 'サーバーパネル' link is highlighted with a green box. Below the menu, there is a breadcrumb trail: 'ホーム > ログイン > サーバーパネル'. A description of the 'サーバーパネル' is provided: 'サーバーパネル メールアカウントの作成・ドメイン設定の追加などサーバに関する設定を行うための管理システムです。'. The main section is titled 'サーバーパネルログインフォーム' and contains two input fields: 'サーバーID(ユーザID)' and 'サーバーパスワード'. A red box highlights the 'ログイン' button at the bottom of the form. Below the button, there is a link: '初めてのご利用・新規お申し込みの方はこちら'.





「phpmyadmin(MySQL5.5)」をクリック

アカウントデータ		アカウント Account	メール Mail
サーバーID :			
ご利用プラン	X10	❖ パスワード変更	❖ メールアカウント設定
ディスク使用量	1090.9MB	❖ サーバー情報	❖ 迷惑メール設定
空き容量	198909.1MB	❖ バックアップ	❖ 自動応答設定
ドメイン	7		❖ SMTP認証の国外アクセス制限設定
サブドメイン	0		❖ メールの振り分け
メールアカウント	1		❖ メーリングリスト・メールマガジン
FTPアカウント	0	ホームページ Homepage	FTP File Transfer
MySQL	4	❖ アクセス制限	❖ FTPアカウント設定
設定対象ドメインデータ		❖ エラーページ設定	❖ FTP制限設定
ドメイン :	----	❖ MIME設定	
サブドメイン	-	❖ Cron設定	データベース Database
メールアカウント	-	❖ mod_pagespeed設定	❖ MySQL設定
FTPアカウント	-	❖ .htaccess編集	❖ phpmyadmin(MySQL5.5)
設定対象ドメイン ?		❖ サイト転送設定	
設定対象ドメイン未指: ▼ 設定する		❖ アクセス拒否設定	





ユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」をクリック

認証が必要です

https://sv...xserver.jp

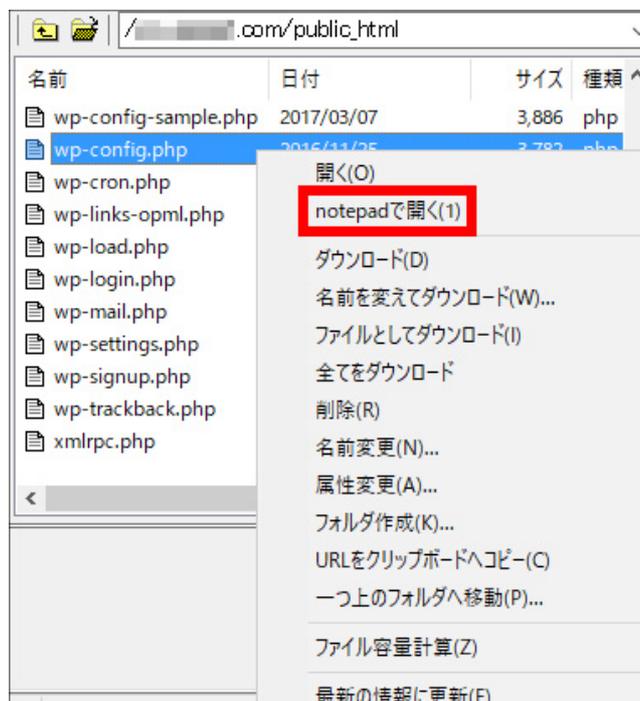
ユーザー名

パスワード

ユーザー名:MySQL データベースのユーザー名(DB\_USER)

パスワード:MySQL データベースのパスワード(DB\_PASSWORD)

上記のデータは、WordPress の「wp-config.php」に記載されているので、  
「notepad で開く(1)」で、確認する事が可能です。





「phpMyAdmin」に、ログインできましたら、  
左側の「データベースのユーザー名」をクリックする。

mysql [redacted].xserver.jp

- サーバのバージョン: 5.5.45
  - プロトコルバージョン: 10
  - サーバ: mysql [redacted].xserver.jp via TCP/IP
  - ユーザ: [redacted]@sv [redacted].xserver.jp
- MySQL の文字セット: UTF-8 Unicode (utf8)
- MySQL の接続照合順序: utf8\_unicode\_ci
- 新規データベースを作成する: ②
  - 特権なし
- MySQL のランタイム情報
- MySQL のシステム変数 ②
- プロセス ②

phpMyAdmin - 2.11.11.3

- MySQL クライアントのバージョン: 5.0.95
- 使用中の PHP 拡張: mysql
- 言語 - Language ①: 日本語 - Japanese
- テーマ / スタイル: Original
- フォントサイズ: 82%
- phpMyAdmin のドキュメント
- phpMyAdmin wiki
- phpMyAdmin の公式サイト
- [ChangeLog] [Subversion] [Lists]

「インポート」をクリック

サーバ: mysql [redacted].xserver.jp ▶ データベース: [redacted]

構造 SQL 検索 クエリ エクスポート **インポート** 操作

テーブル	操作	レコード数	種別	照合順序	サイズ	オーバーヘッド
<input type="checkbox"/> wp_commentmeta		0	InnoDB	utf8_general_ci	48.0 KiB	-
<input type="checkbox"/> wp_comments		0	InnoDB	utf8_general_ci	96.0 KiB	-
<input type="checkbox"/> wp_links		0	InnoDB	utf8_general_ci	32.0 KiB	-
<input type="checkbox"/> wp_options		228	InnoDB	utf8_general_ci	368.0 KiB	-
<input type="checkbox"/> wp_postmeta		2,832	InnoDB	utf8_general_ci	1.8 MiB	-
<input type="checkbox"/> wp_posts		1,281	InnoDB	utf8_general_ci	10.8 MiB	-
<input type="checkbox"/> wp_termmeta		0	InnoDB	utf8_general_ci	48.0 KiB	-
<input type="checkbox"/> wp_terms		78	InnoDB	utf8_general_ci	48.0 KiB	-
<input type="checkbox"/> wp_term_relationships		194	InnoDB	utf8_general_ci	32.0 KiB	-
<input type="checkbox"/> wp_term_taxonomy		78	InnoDB	utf8_general_ci	48.0 KiB	-
<input type="checkbox"/> wp_usermeta		24	InnoDB	utf8_general_ci	48.0 KiB	-
<input type="checkbox"/> wp_users		1	InnoDB	utf8_general_ci	64.0 KiB	-
12 テーブル	合計	4,716	InnoDB	utf8_general_ci	13.3 MiB	0 バイト

↑ すべてをチェックする / すべてのチェックを外す

印刷用画面 データ辞書

データベース [redacted] に新しいテーブルを作成する

名前:  フィールド数:





「ファイルを選択」から、バックアップした SQL ファイルを選択し、  
「実行する」をクリック

構造 SQL 検索 クエリ エクスポート インポート 操作

### インポート

インポートするファイル

テキストファイルの位置 **ファイルを選択** 選択されていません (最大: 205 kKiB)

ファイルの文字セット: utf8

インポートしたファイルの圧縮方法は次の中から自動検出されます: なし, gzip, bzip2, zip

部分インポート

制限時間が近くなったときにスクリプト側でインポートを中断できるようにします。大きなファイルをインポートする場合には便利ですが、トランザクションが壊れることもあります

先頭から数えたスキップするレコード(クエリ)の数 0

インポートするファイルの形式

SQL

オプション

SQL互換モード NONE

non  EUC  SJIS エンコーディングへ変換する

全角カナへ変換する

実行する

容量オーバーで、アップロードできない場合は、  
zip 形式に圧縮してアップロードすれば、問題ありません。

### (3) 復元した WordPress の動作確認

ブログが正常に表示されないなど、トラブルがあった場合は、  
まず、ブラウザのキャッシュを削除してみてください。

プラグインの不具合の場合は、面倒ですが、  
プラグインの再インストールで改善する事もあります。





## 第 3 章 : X サーバーの WordPress を SSL 化する

WordPress のバックアップが終われば、いよいよ X サーバーにインストールしてある WordPress を SSL 化していきます。

SSL 化とは、インターネット上の情報を暗号化して送受信する取り決めの事です。

例えば、買い物でクレジットカードの番号を入力するのに、暗号化がされてなかったら、情報が漏洩する可能性がある。

最近では、個人情報の保護が重要視されているので、クレジットカード番号以外にも、セキュリティがしっかりしているかは、そのサイトの信用に関わってくる。

もし、あなたの運営するブログで読者から問い合わせをもらう形なら、必ず SSL 化はしておきましょう。

例えば、カウンセリングを受け付けているとして、読者が申し込もうとすると、以下のような警告が表示される。

**「この接続ではプライバシーが保護されません」**

このような表示がされるとなると、サイト自体のイメージが悪くなる。

申し込む気満々だった読者も、考え直すと思います。

これを避ける為には、サイトの SSL 化が必須となります。





簡単に言うと、「<http://>」ではなく、  
「<https://>」で始まるのが SSL 化されたサイトになる。

### 【SSL 化のメリット】

- 検索順位が上がる
- サイトの表示速度が高速化される
- セキュリティの強化
- 信頼性の向上

### 【SSL 化のデメリット】

- Google Adsense の広告収入が低下する※

※Google Adsense では SSL 非準拠の広告を排除するので、  
オークションの競争率が低下して広告収益が低下する可能性がある。

運営途中から、サイトを SSL 化するのは、  
とてつもなく面倒くさい(笑)

サイトの中に、1 個でも「<http://>」が入っていたら、  
それだけで、安全ではないサイトと認識されてしまう。

SSL 化するデメリットはあまりないので、  
今後も長くブログを運営していくなら、  
最初から SSL([https](https://))化するのが賢い選択です。





## (1) XサーバーのSSL設定

まず、**サーバーパネル**に「ログイン」する。

[https://www.xserver.ne.jp/login\\_server.php](https://www.xserver.ne.jp/login_server.php)

**XSERVER** レンタルサーバー 👑 運用サイト数\*130万件突破!  
\*当サービスにて運用中のドメイン、サブドメインの合計数

🏠 特長 | 🛠️ 機能 | 💰 料金 | ✍️ お申し込み | 📖 マニュアル | 👤 サポート | 🔑 ログイン

🔑 ログイン | インフォパネル | **サーバーパネル** | ファイルマネージャ | WEBメール

🏠 ホーム > ログイン > サーバーパネル

 **サーバーパネル**  
メールアカウントの作成・ドメイン設定の追加などサーバに関する設定を行うための管理システムです。

**サーバーパネルログインフォーム**

サーバーID(ユーザID)	<input type="text"/>
サーバーパスワード	<input type="password"/> ※パスワードを忘れてしまった方は <a href="#">こちら</a>

**ログイン**

初めてのご利用・新規お申し込みの方は[こちら](#)





「SSL 設定」をクリック

サーバーパネル トップ [マニュアル](#) [ログアウト](#)

アカウントデータ		アカウント Account	メール Mail	ドメイン Domain
サーバーID :		※ パスワード変更	※ メールアカウント設定	※ ドメイン設定
ご利用プラン	X10	※ サーバー情報	※ 迷惑メール設定	※ サブドメイン設定
ディスク使用量	1009.7MB	※ バックアップ	※ 自動応答設定	※ DNSレコード設定
空き容量	198990.3MB		※ SMTP認証の国外アクセス制限設定	※ SSL設定
ドメイン	7		※ メールの振り分け	※ 動作確認URL
サブドメイン	0		※ メールिंगリスト・メールマガジン	
メールアカウント	1			
FTPアカウント	0	ホームページ Homepage	FTP File Transfer	統計 Statistics
MySQL	4	※ アクセス制限	※ FTPアカウント設定	※ アクセス解析
設定対象ドメインデータ		※ エラーページ設定	※ FTP制限設定	※ ログファイル
ドメイン : ----		※ MIME設定		
サブドメイン	-	※ Cron設定	データベース Database	SSH Secure Shell
メールアカウント	-	※ mod_pagespeed設定	※ MySQL設定	※ SSH設定
FTPアカウント	-	※ .htaccess編集	※ phpmyadmin(MySQL5.5)	
設定対象ドメイン ?		※ サイト転送設定		
設定対象ドメイン未指 ▼ <input type="button" value="設定する"/>		※ アクセス拒否設定		

SSL 化するドメインで、「選択する」をクリック

**ドメイン選択画面**

SSLを設定するドメインを選択してください。

0-9 | [A](#) | [B](#) | [C](#) | [D](#) | [E](#) | [F](#) | [G](#) | [H](#) | [I](#) | [J](#) | [K](#) | [L](#) | [M](#) | [N](#) | [O](#) | [P](#) | [Q](#) | [R](#) | [S](#) | [T](#) | [U](#) | [V](#) | [W](#) | [X](#) | [Y](#) | [Z](#) | [日本語](#)

ドメイン名	独自SSL	
affiliate-datsusara.com	0個	<input type="button" value="選択する"/>
.....info	0個	<a href="#">選択する</a>
.....com	0個	<a href="#">選択する</a>





「独自 SSL 設定の追加」をクリック

### SSL 設定

SSL の設定状況確認と設定の変更を行うことができます

[SSL 設定の一覧](#) **独自 SSL 設定の追加**

■ 設定対象ドメイン [affiliate-datsusara.com]

■ 無料独自 SSL 一覧

現在、独自 SSL 設定はありません。

**i** 「オプション独自 SSL」のご案内

当サービスでは、サーバーパネルから設定可能な「無料独自 SSL」の他にセキュアコア / ラピッド SSL / ジオトラスト / グローバルサインの各証明書ブランドや固定 IP アドレスの利用が可能な「オプション独自 SSL」を提供しています。

また、「オプション独自 SSL」のお申し込みはインフォパネル内「追加のお申し込み」にて承ります。

ドメインが正しいか確認し、「独自 SSL 設定を追加する(確定)」をクリック

### SSL 設定

SSL の設定状況確認と設定の変更を行うことができます

[SSL 設定の一覧](#) **独自 SSL 設定の追加**

■ 設定対象ドメイン [affiliate-datsusara.com]

サイト

https://www.affiliate-datsusara.com に加え、  
https://affiliate-datsusara.com でもアクセスが可能です。

CSR 情報 (SSL 証明書申請情報) を入力する

[戻る](#) **独自 SSL 設定を追加する(確定)**

※ 独自 SSL は追加後、サーバーに設定が反映されるまで最大 1 時間程度かかります。





「SSL 新規取得申請中です。しばらくお待ちください。」と表示されるので、少し待ちます。

### SSL設定

SSLの設定状況確認と設定の変更を行うことができます

SSL設定の一覧 **独自SSL設定の追加**

■ 設定対象ドメイン[affiliate-datsusara.com]

サイト	<input type="text" value="www.affiliate-datsus"/> ▼ https://www.affiliate-datsusara.comに加え、 https://affiliate-datsusara.comでもアクセスが可能です。
-----	---

CSR情報(SSL証明書申請情報)を入力する

**SSL新規取得申請中です。しばらくお待ちください。**  
※処理には数分程度かかる場合があります。

※独自SSLは追加後、サーバーに設定が反映されるまで最大1時間程度かかります。

「独自 SSL 設定を追加しました。」と表示されるので、「SSL 設定の一覧」をクリック

### SSL設定

SSLの設定状況確認と設定の変更を行うことができます

**SSL設定の一覧** 独自SSL設定の追加

■ 設定対象ドメイン[affiliate-datsusara.com]

「www.affiliate-datsusara.com」に独自SSL設定を追加しました。

なお、SSL設定が反映するまで、最大1時間程度かかります。今しばらくお待ちください。





「SSL用アドレス」をクリックしてみてください。

### SSL設定

SSLの設定状況確認と設定の変更を行うことができます

[SSL設定の一覧](#) [独自SSL設定の追加](#)

■ 設定対象ドメイン[affiliate-datsusara.com]

■ 無料独自SSL一覧

サイト	SSL用アドレス	削除
www.affiliate-datsusara.com	<a href="https://www.affiliate-datsusara.com/">https://www.affiliate-datsusara.com/</a>	<a href="#">削除</a>

**i** 「オプション独自SSL」のご案内

当サービスでは、サーバーパネルから設定可能な「無料独自SSL」の他にセキュアコア / ラビッドSSL / ジオトラスト / グローバルサインの各証明書ブランドや固定IPアドレスの利用が可能な「オプション独自SSL」を提供しています。

また、「オプション独自SSL」のお申し込みはインフォパネル内「追加のお申し込み」にて承ります。

「この接続ではプライバシーが保護されません」と表示されるはずです。



### この接続ではプライバシーが保護されません

**www.affiliate-datsusara.com** では、悪意のあるユーザーによって、パスワード、メッセージ、クレジットカードなどの情報が盗まれる可能性があります。 [詳細](#)  
NET::ERR\_CERT\_COMMON\_NAME\_INVALID

危険なアプリやサイトの検出に役立てるために一部のシステム情報やページのコンテンツを Google に自動送信する。 [プライバシー ポリシー](#)

[詳細設定](#) [セキュリティで保護されたページに戻る](#)





1時間ほど経過すれば、普通に「https://」でアクセスできるようになる。

オウンドメディアで戦略的アフィリエイト

アフィリエイトで脱サラした男が稼ぎ方のコツを伝授！

記事一覧

- メルゾうプラチナ会員に登録し、発行者アカウントを取得する方法**  
2017/10/06 | メルマガ  
無料レポートと言えば、「メルゾう」が一番有名だと思います。でも、「メルゾう」では発行者アカウントがないと、無料レポートの発行ができません。この発行者アカウントを  
[記事を読む](#)
- MyASPを使う場合のSPFレコード設定(Xサーバー編)**  
2017/09/24 | レンタルサーバー | メルマガ  
メルマガ配信スタンドを契約後、そのままでは、メールの到達率は高くありません。その原因は、「SPFレコードの設定」をしていないからです。このSPFレコードの設定は  
[記事を読む](#)

応援クリックお願いします！

[ザリマンのお願い](#)

にほんブログ村

メルマガ登録

オウンドメディアのプロが稼ぎ方のコツをメルマガで公開

⇒メルマガ登録はこちら





## (2) WordPress の SSL 設定

例えば、「●●●.com」という独自ドメインの WordPress ブログにログインする場合は、

<https://●●●.com/wp-admin>

にアクセスして、ログインして下さい。

WordPress logo

ユーザー名またはメールアドレス

パスワード

ログイン状態を保存する

ログイン

「設定」から「一般」をクリック





下記 2 箇所の URL ですが、「http」を「https」に変更します。

WordPress アドレス (URL)	<input type="text" value="http://affiliate-datsusara.com"/>
サイトアドレス (URL)	<input type="text" value="http://affiliate-datsusara.com"/>
<b>https:// に変更する ↓</b>	
WordPress アドレス (URL)	<input type="text" value="https://affiliate-datsusara.com"/>
サイトアドレス (URL)	<input type="text" value="https://affiliate-datsusara.com"/>

「変更を保存」をクリック

サイトの言語	<input type="text" value="日本語"/>
<input type="button" value="変更を保存"/>	





### (3) https への転送設定(.htaccess 編集)

今の段階では、暗号化されていない「http」にもアクセス出来てしまう。

ですので、アクセス出来ないように転送設定(リダイレクト)を行ないます。

「http」にアクセスしたら、「https」に全て転送されるようにする。

まず、X サーバーのサーバーパネルに「ログイン」する。

[https://www.xserver.ne.jp/login\\_server.php](https://www.xserver.ne.jp/login_server.php)

「設定対象ドメイン」を選択し、「設定する」をクリック

アカウントデータ		アカウント Account	メール Mail	ドメイン Domain
サーバーID :		✦ パスワード変更	✦ メールアカウント設定	✦ ドメイン設定
ご利用プラン	X10	✦ サーバー情報	✦ 迷惑メール設定	✦ サブドメイン設定
ディスク使用量	1012.1MB	✦ バックアップ	✦ 自動応答設定	✦ DNSレコード設定
空き容量	198987.9MB		✦ SMTP認証の国外アクセス制限設定	✦ SSL設定
ドメイン	7		✦ メールの振り分け	✦ 動作確認URL
サブドメイン	0		✦ メールिंगリスト・メールマガジン	
メールアカウント	1			
FTPアカウント	0	ホームページ Homepage	FTP File Transfer	統計 Statistics
MySQL	4	✦ アクセス制限	✦ FTPアカウント設定	✦ アクセス解析
設定対象ドメインデータ		✦ エラーページ設定	✦ FTP制限設定	✦ ログファイル
ドメイン : ---		✦ MIME設定		
サブドメイン	-	✦ Cron設定	データベース Database	SSH Secure Shell
メールアカウント	-	✦ mod_pagespeed設定	✦ MySQL設定	✦ SSH設定
FTPアカウント	-	✦ .htaccess編集	✦ phpmyadmin(MySQL5.5)	
設定対象ドメイン ?		✦ サイト転送設定		
affiliate-datsusara.com ▼		✦ アクセス拒否設定		
		<b>設定する</b>		





「.htaccess 編集」をクリック

アカウントデータ		アカウント Account	メール Mail
サーバーID :		※ パスワード変更	※ メールアカウント設定
ご利用プラン	X10	※ サーバー情報	※ 迷惑メール設定
ディスク使用量	1012.1MB	※ バックアップ	※ 自動応答設定
空き容量	198987.9MB		※ SMTP認証の国外アクセス制限設定
ドメイン	7		※ メールの振り分け
サブドメイン	0		※ メーリングリスト・メールマガジン
メールアカウント	1		
FTPアカウント	0	ホームページ Homepage	FTP File Transfer
MySQL	4	※ アクセス制限	※ FTPアカウント設定
設定対象ドメインデータ		※ エラーページ設定	※ FTP制限設定
ドメイン :	affiliate-datsusara.com	※ MIME設定	
サブドメイン	0	※ Cron設定	データベース Database
メールアカウント	1	※ mod_pagespeed設定	※ MySQL設定
FTPアカウント	0	※ <b>.htaccess編集</b>	※ phpmyadmin(MySQL5.5)
設定対象ドメイン ?		※ サイト転送設定	
affiliate-datsusara.com ▼	設定する	※ アクセス拒否設定	
		※ CGIツール	

「.htaccess 編集」をクリック

### .htaccess編集

.htaccessの編集が行えます。

使用前のご注意 **.htaccess編集**

■ 設定対象ドメイン[affiliate-datsusara.com]

**!** この機能は上級者向けの機能です

「.htaccess」を編集することでウェブサーバーの挙動を制御することができます。

なお、本サーバーパネルで提供している一部機能の設定に関する記述や、WordPressなどのプログラムによる記述が自動的に行われている場合があります。心当たりのない記述であっても不用意に削除なされないようご注意ください。

編集後はウェブサイトが正常に表示されるかを必ずご確認ください。

※本機能を利用した場合は文字コードが「EUC-JP」として保存されます。





「.htaccess」は、重要なファイルなのでバックアップを取っておきます。

「.htaccess」の中身を全てコピーして下さい。

### .htaccess編集

.htaccessの編集が行えます。

使用前のご注意 **.htaccess編集**

■ 設定対象ドメイン[affiliate-datsusara.com]

編集対象	/home/███/affiliate-datsusara.com/public_html/.htaccess
.htaccess	<pre>suPHP_ConfigPath /home/███/affiliate-datsusara.com/xserver_php/ AddHandler fcgid-script .php .phps FCGIWrapper "/home/███/affiliate-datsusara.com/xserver_php/php-cgi -c /home/███ /affiliate-datsusara.com/xserver_php/php.ini" .php FCGIWrapper "/home/███/affiliate-datsusara.com/xserver_php/php-cgi -c /home/███ /affiliate-datsusara.com/xserver_php/php.ini" .phps # BEGIN WordPress &lt;IfModule mod_rewrite.c&gt; RewriteEngine On RewriteBase / RewriteRule ^index%.php\$ - [L] RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-f RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-d RewriteRule ./index.php [L] &lt;/IfModule&gt;  # END WordPress # BEGIN WordPress &lt;IfModule mod_rewrite.c&gt; RewriteEngine On RewriteBase / RewriteRule ^index%.php\$ - [L] RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-f RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-d RewriteRule ./index.php [L] &lt;/IfModule&gt; # END WordPress SetEnvIf Request_URI ".*" AllowXmlrpc</pre>

Ctrl+A で全選択して、  
Ctrl+C でコピーする

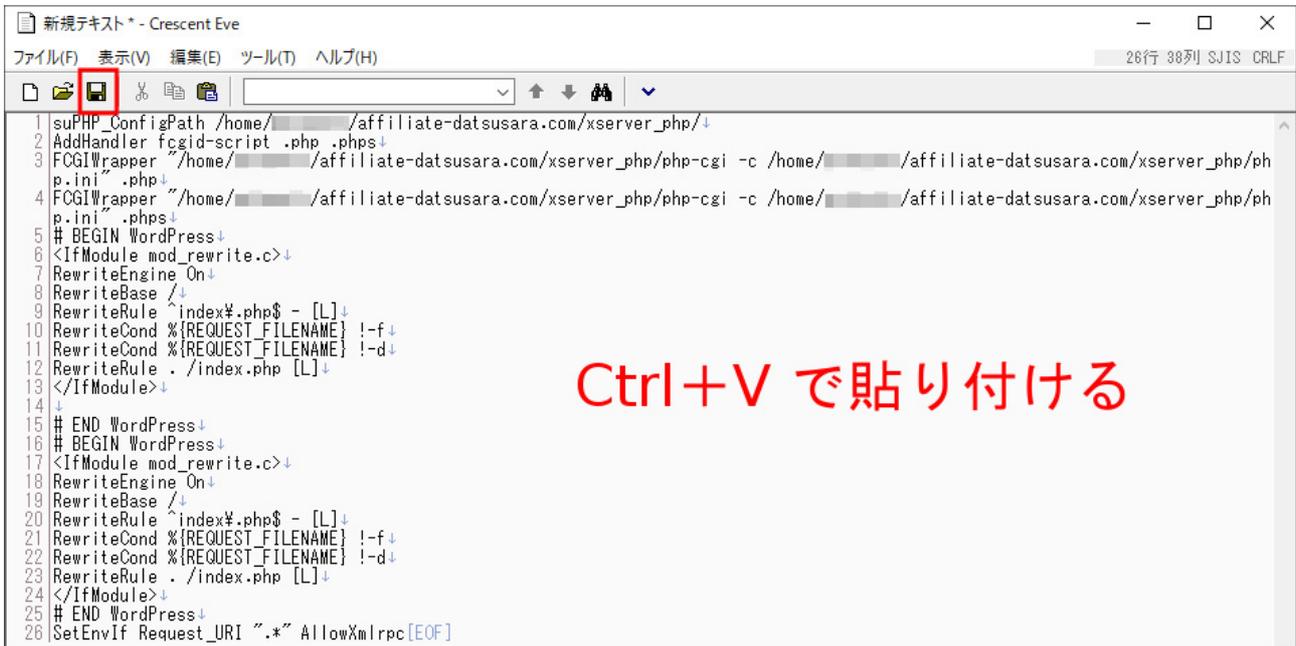
.htaccessを編集する (確認)

※/home/███/affiliate-datsusara.com/public\_htmlフォルダ直下にある.htaccessファイルのパーミッションを  
読み取りのみに設定変更している場合、本設定が反映されません。  
サーバーパネルからの設定が反映しない場合は、FTP上の.htaccessのパーミッションや設定をご確認ください。

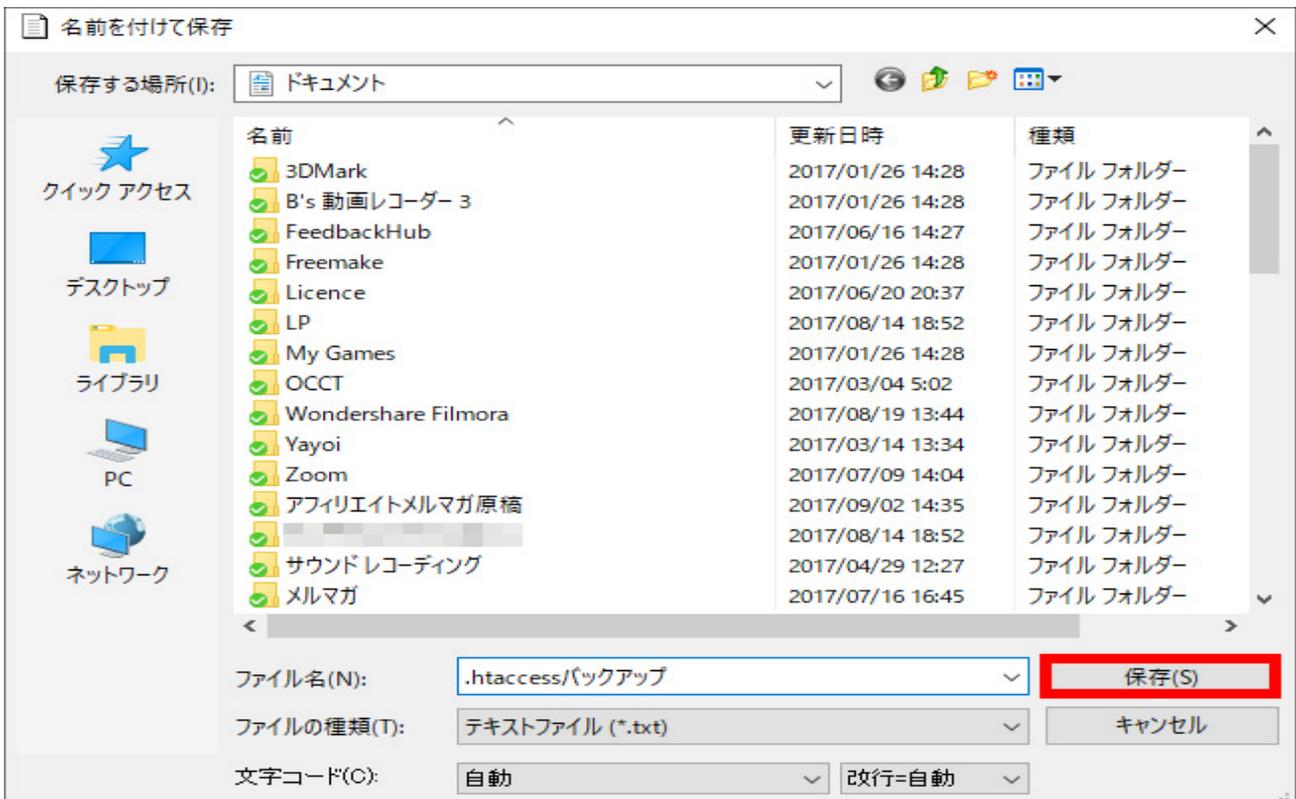




テキストエディタ「Crescent Eve」あたりにでも、貼り付けします。



「.htaccess バックアップ」とでも名前を付けて、念のため保存します。





では、「.htaccess」先頭に 1 行空けて、  
下記の「転送用コード」を追記します。

```
<IfModule mod_rewrite.c>
RewriteEngine On
RewriteCond %{HTTPS} !on
RewriteRule ^(.*)$ https://%{HTTP_HOST}%{REQUEST_URI} [R=301,L]
</IfModule>
```

⇒[こちら](#)より転送用コードをコピーして下さい。

**.htaccess編集**

.htaccessの編集が行えます。

使用前のご注意 | **.htaccess編集**

設定対象ドメイン [affiliate-datsusara.com]

編集対象: /home/.../affiliate-datsusara.com/public\_html/.htaccess

**.htaccess**

← 追記する

```
suPHP_ConfigPath /home/.../affiliate-datsusara.com/xserver_php/
AddHandler fcgid-script .php .phps
FCGIWrapper "/home/.../affiliate-datsusara.com/xserver_php/php-cgi -c /home/.../affiliate-datsusara.com/xserver_php/php.ini" .php
FCGIWrapper "/home/.../affiliate-datsusara.com/xserver_php/php-cgi -c /home/.../affiliate-datsusara.com/xserver_php/php.ini" .phps
# BEGIN WordPress
<IfModule mod_rewrite.c>
RewriteEngine On
RewriteBase /
RewriteRule ^index%.php$ - [L]
RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-f
RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-d
RewriteRule . /index.php [L]
</IfModule>

# END WordPress
# BEGIN WordPress
<IfModule mod_rewrite.c>
RewriteEngine On
RewriteBase /
RewriteRule ^index%.php$ - [L]
RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-f
RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-d
RewriteRule . /index.php [L]
</IfModule>
# END WordPress
SetEnvIf Request_URI ".*" AllowXmLrpc
```

htaccessを編集する (確認)





コードを追記したら、「**.htaccess を編集する(確認)**」をクリック

## .htaccess 編集

.htaccess の編集が行えます。

使用前のご注意 **.htaccess 編集**

■ 設定対象ドメイン [affiliate-datsusara.com]

編集対象	/home/ /affiliate-datsusara.com/public_html/.htaccess
.htaccess	<pre>&lt;IfModule mod_rewrite.c&gt; RewriteEngine On RewriteCond %{HTTPS} !on RewriteRule ^(.*)\$ https://%{HTTP_HOST}%{REQUEST_URI} [R=301,L] &lt;/IfModule&gt;  suPHP_ConfigPath /home/ /affiliate-datsusara.com/xserver_php/ AddHandler fcgid-script .php .phps FCGIWrapper "/home/ /affiliate-datsusara.com/xserver_php/php-cgi -c /home/ /affiliate-datsusara.com/xserver_php/php.ini" .php FCGIWrapper "/home/ /affiliate-datsusara.com/xserver_php/php-cgi -c /home/ /affiliate-datsusara.com/xserver_php/php.ini" .phps # BEGIN WordPress &lt;IfModule mod_rewrite.c&gt; RewriteEngine On RewriteBase / RewriteRule ^index%.php\$ - [L] RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-f RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-d RewriteRule . /index.php [L] &lt;/IfModule&gt;  # END WordPress # BEGIN WordPress &lt;IfModule mod_rewrite.c&gt; RewriteEngine On RewriteBase / RewriteRule ^index%.php\$ - [L] RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-f RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-d RewriteRule . /index.php [L] &lt;/IfModule&gt; # END WordPress SetEnvIf Request_URI ".*" AllowXmLrpc</pre>

**htaccess を編集する (確認)**

※/home/ /affiliate-datsusara.com/public\_html フォルダ直下にある .htaccess ファイルのパーミッションを読み取りのみに設定変更している場合、本設定が反映されません。  
サーバーパネルからの設定が反映しない場合は、FTP 上の .htaccess のパーミッションや設定をご確認ください。





「.htaccess を編集する(確定)」をクリック

### .htaccess編集

.htaccessの編集が行えます。

[使用前のご注意](#) [.htaccess編集](#)

■ 設定対象ドメイン[affiliate-datsusara.com]

編集対象	/home/██████/affiliate-datsusara.com/public_html/.htaccess
<b>.htaccess</b>	<pre>&lt;IfModule mod_rewrite.c&gt; RewriteEngine On RewriteCond %{HTTPS} !on RewriteRule ^(.*)\$ https://%{HTTP_HOST}%{REQUEST_URI} [R=301,L] &lt;/IfModule&gt;  suPHP_ConfigPath /home/██████/affiliate-datsusara.com/xserver_php/ AddHandler fcgid-script .php .phps FCGIWrapper "/home/██████/affiliate-datsusara.com/xserver_php/php-cgi -c /home/██████/affiliate-datsusara.com/xserver_php/php.ini" .php FCGIWrapper "/home/██████/affiliate-datsusara.com/xserver_php/php-cgi -c /home/██████/affiliate-datsusara.com/xserver_php/php.ini" .phps # BEGIN WordPress &lt;IfModule mod_rewrite.c&gt; RewriteEngine On RewriteBase / RewriteRule ^index\.php\$ - [L] RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-f RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-d RewriteRule . /index.php [L] &lt;/IfModule&gt;  # END WordPress # BEGIN WordPress &lt;IfModule mod_rewrite.c&gt; RewriteEngine On RewriteBase / RewriteRule ^index\.php\$ - [L] RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-f RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-d RewriteRule . /index.php [L] &lt;/IfModule&gt; # END WordPress SetEnvIf Request_URI ".*" AllowXmlrpc</pre>

[キャンセル](#) [.htaccessを編集する \(確定\)](#)

「.htaccess」の編集は終了しました。

### .htaccess編集

.htaccessの編集が行えます。

[使用前のご注意](#) [.htaccess編集](#)

.htaccessを編集しました。

[戻る](#)





試しに、「<http://>」にアクセスしてみましたが、  
転送されて、「<https://>」にアクセスされました。



これで、**SSL化**と**転送設定**が完了しました。

もし、すでに多くの記事が入っているサイトを SSL 化する場合は、  
下記ブログにも詳しく書きましたので参考にして下さい。

→[既存の WordPress サイトを https に SSL 化した方法！初めての方は必見](#)





## 第 4 章 : SSL 化できているか確認する方法

WordPress を、しばらく「[http](#)」でサイト運営をしていた場合、間違いなく、これまでの手順だけでは**完全な SSL 化**はできません。

次のような表示になるはずです。

赤枠の「ブックリマーク」をクリックして下さい。

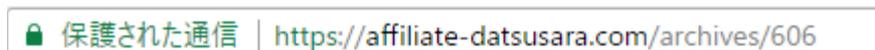


すると、「このサイトへの接続は完全には保護されていません」と出る。



つまり、完全な SSL 化ができてない事を意味します。

**完全な SSL 化**状態だと、次のように「鍵」がかかった状態が表示される。

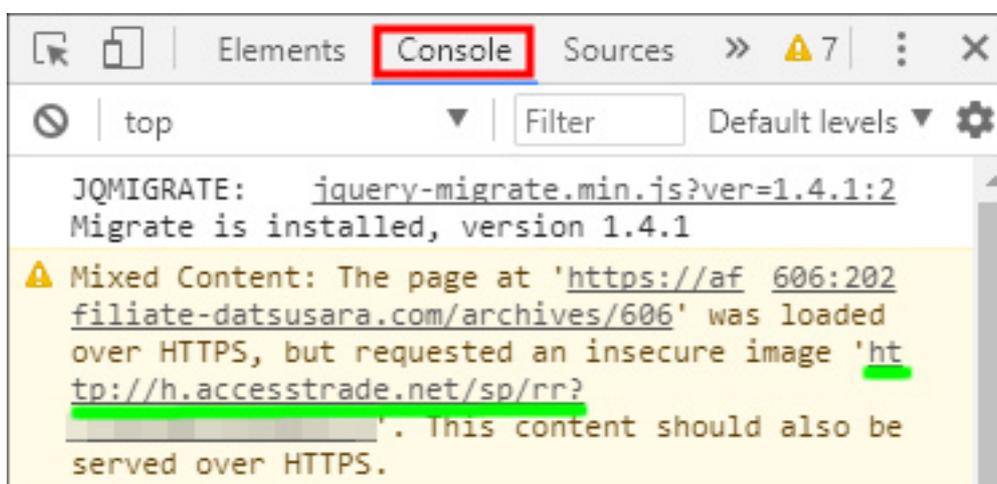




SSL 化が完全ではない場合、GoogleChrome を使っているなら、**「F12」**を押して下さい。

するとデベロッパーツールが開くので、**「Console」**タブに移動する。

その中に、**「http」**の記述が見つかるはずなので、それを把握して、ひとつひとつ修正していきます。



これを**全ての記事(URL)**で行ない、画像リンクを含め手作業で修正しないとイケない。

ですが、そんな事を何千回もやってられない(笑)

だから、**「Search Regex」**というプラグインを使います。

不完全でも、SSL 化をしてある状態なので、この段階で、もう一度バックアップを取っておいた方が賢明です。





## 第 5 章 : 「Search Regex」 の使い方

では、http を https に修正する為、  
WordPress プラグイン「**Search Regex**」の使い方を解説します。

このプラグインを使えば、http を https に置換できるので、  
作業がはかどります。

「**新規追加**」をクリック

The screenshot shows the WordPress dashboard interface. At the top, there's a navigation bar with the WordPress logo, a home icon, the site name 'オウンドメディアで戦略的アフィリエイト', and icons for 5 comments and 0 messages, along with a '+ 新規' (Add New) button. The left sidebar contains various menu items: 'ダッシュボード', 'WP Copy Protect', '投稿', 'メディア', '固定ページ', 'CTA', 'コメント', 'お問い合わせ', '外観', and 'プラグイン' (which is highlighted in blue and has a '2' notification badge). The main content area is titled 'プラグイン' (Plugins) and features a red-bordered button labeled '新規追加' (Add New). Below this, there are filters for 'すべて (10)', '使用中 (8)', '停止中 (2)', and '利用可能な更新 (2)'. There are also buttons for '一括操作' (Bulk Actions) and '適用' (Apply). A table of installed plugins is visible, with columns for checkboxes, plugin names, and descriptions. The first plugin listed is 'AddQuicktag', and the second is 'Akismet Anti-Spam (アンチスパム)'. The 'プラグイン' menu item in the sidebar is highlighted in blue.





右上キーワードに「Search Regex」と打ち込み、  
「今すぐインストール」をクリック

The screenshot shows the WordPress dashboard's 'Plugins' section. The search bar at the top right contains the text 'Search Regex'. Below the search bar, there are two plugin cards. The first card is for 'Search Regex' by John Godley. It features a thumbnail of red poppies and a red-bordered button that says '今すぐインストール' (Install Now). The second card is for 'Real-Time Find and Replace' by Marios Alexandrou, with a blue-bordered button that says '今すぐインストール'.

「有効化」をクリック

This screenshot is similar to the previous one, but the 'Search Regex' plugin card is now highlighted. The '今すぐインストール' button has been replaced by a red-bordered button that says '有効化' (Activate). The '詳細情報' (Details) link is also visible.





「ツール」から「Search Regex」をクリック



緑枠内のみに、入力していきます。

「Search pattern」には、SSL 化する前のアドレス([http](http://))を入力して、

「Replace pattern」には、SSL 化した後のアドレス([https](https://))を入力する。

### Search Regex

Replacements will only be saved to the database if you click 'Replace & Save', otherwise you will get a preview of the results.

NOTE: No liability is accepted for any damage caused. You are strongly advised to backup your database before making any changes.

Source:  Limit to:  Order By:

Search pattern:

Replace pattern:

Regex:  case-insensitive:  multi-line:  dot-all:  — remember to surround your regex with a delimiter!





「**Replace**」ボタンをクリックすると、  
置換が行なわれる部分が**赤**で表示されます。

### Results

203 result(s) found.

- Post #37: アフィリエイトの稼げるジャンル！ダイエットや病気を避けるのは問題 [view](#) | [edit](#)  
... ="alignnone size-full wp-image-48" src="http://affiliate-datusara.com/wp-content/uploads/2017/05/ダイエット.jpg" alt="" width="316" height="452" ...  
replaced with:  
... ="alignnone size-full wp-image-48" src="https://affiliate-datusara.com/wp-content/uploads/2017/05/ダイエット.jpg" alt="" width="316" height="452" ...
- Post #82: コピーライティングの基本！最も簡単なブログ記事の書き方 [view](#) | [edit](#)  
... http://affiliate-datusara.com/archives/9] ...  
replaced with:  
... https://affiliate-datusara.com/archives/9] ...

そして、「**Replace & Save**」ボタンをクリックで実行される。

### Search Regex

203 occurrences replaced

これで修正できなかった部分は、  
記事ごとに保護されているか URL を確認して、  
保護されてなければ、先ほどのデベロッパーツールを参考に修正する。





## 第 6 章 : SSL 化に伴う、広告タグの貼り替え作業

上記の手順でも、おそらく完全な SSL 化はできません。

ほとんどの場合、広告タグが「**http**」のままになっているからです。

つまり、サイトの SSL 化に伴う、  
広告タグの貼り替え作業を実行する必要があります。

この広告タグの貼り替え作業が曲者なのです。

だいぶ前から、運営しているサイトだと、  
SSL に対応してない広告タグが貼られています。

つまり、全部の広告を貼りかえる事になる(笑)

楽天アフィリエイト・amazon アソシエイト・物販系 ASP など、  
ほぼ全滅ですよ。

amazon に至っては、「http」の広告タグだと、  
SSL 化したサイトでは、空白になって何も表示されない。

SSL 化した「**https**」のサイトだと、  
従来の「**http**」広告タグは、画像やテキストすら表示されないのです。





だから、広告を張り替えないとサイトの見た目がおかしい(笑)

1 記事ずつ、「[https](#)」の広告タグを取得して貼り直し、  
目視で確認するという作業をひたすら繰り返す事になる。

広告タグの貼り替えをして、SSL 化がうまくいくと「**鍵マーク**」が表示される。

 保護された通信 | <https://affiliate-datsusara.com/archives/606>

## (1) 1 つずつ手作業での広告貼り替え作業になる

WordPress プラグイン「**Search Regex**」を使って、  
「http」を「https」に置換しただけで済むと思ったら大間違い。

その方法だと、うまくクッキーが働かなかったりする可能性がある。

なぜなら、ASP によっては SSL 対応の広告タグが、  
単純に「[http→https](#)」になるわけではないからです。

「**A8.net**」などは、SSL 対応の広告タグが別物に変わるので、  
「http」を「https」に置換する方法は使えない。

このあたりに注意しないと、せっかく広告をクリックされて、  
商品が成約しても、**自分の成果にならないという悲劇が起こります。**

「**Search Regex**」を使って、広告タグを「[http→https](#)」に置換するのは  
テキストリンクや画像リンクだけにして、広告タグの置換は避けるのが無難。





## 第 7 章 : Search Console で、サイトの削除と追加

あとは、サイトを**サーチコンソール**に登録しているなら、既存の「**http**」サイトの**登録削除**を行ないます。

そして、新たに「**https**」サイトの追加登録を行なう。

サーチコンソールには、登録サイトを変更する機能がありません。

ですから、既存サイトの登録削除を行ない、新たに、新サイトの追加登録を行なう必要があります。

手順としては、「**http**」サイトを「**プロパティの管理**」から、「**プロパティを削除**」を行なう。

The screenshot shows the Google Search Console interface. At the top, there's a 'Search Console' header with 'ヘルプ' and a settings icon. Below that, there's a navigation bar with 'ホーム', 'すべてのメッセージ (2件)', and 'Web Tools'. The main content area shows a list of properties. The first property is 'http://affiliate-datsusara.com/ ウェブサイト'. To the right of this property, there's a dropdown menu labeled 'プロパティの管理'. This menu is open, showing options: 'ユーザーを追加/削除' and 'プロパティを削除'. The 'プロパティを削除' option is highlighted with a red box.

その後に、「**プロパティを追加**」から、「**https**」サイトの追加登録を行なう。





## 第 8 章 : Google Analytics の設定変更

アナリティクスでは、変更が可能です。

「管理」→「プロパティ設定」をクリックし、  
デフォルト URL を「https://」を選択する。

管理 > プロパティ設定

### アフィリエイト / オウンドメディアで戦略的アフィリエイト

プロパティ

オウンドメディアで戦略的...

**プロパティ設定**

ユーザー管理

.js トラッキング情報

他のサービスとのリンク状況

AdWords のリンク設定

AdSense のリンク設定

### プロパティ設定

#### 基本設定

トラッキング ID

UA- [REDACTED]

プロパティ名

オウンドメディアで戦略的アフィリエイト

デフォルトの URL

**https://** affiliate-datsusara.com

デフォルトのビュー

すべてのウェブサイトのデータ





Search Console と連携している場合は、

「**Search Console を調整**」をクリックして、サイトを選択します。

Search Console

**Search Console を調整**

ユーザー分析

レポートでユーザー指標を有効にする  
標準レポートにユーザー指標を追加し、ユーザー指標の計算を更新します。

オフ

**保存** キャンセル

連携しているサイトの削除と追加を行なって下さい。

そして、「**保存**」をクリックする。

以上





## 終わりに

今回のレポートでは、

**「WordPress のバックアップと SSL 化」**について

徹底的に詳しく解説をしました。

特に、すでに WordPress を運営していて、

SSL 化に踏み切れない方には、参考になると思います。

最初から SSL 化してしまえば、何も面倒くさくありませんが、

途中から SSL 化しようとする、途端に難易度が上がります。

どこの会社と契約しているかで、またやり方も変わってくるのですが、

X サーバーとムームードメインの組み合わせが一番良いと思います。

X サーバーからでも、独自ドメインは取得できますが、

料金が高くなるので推奨できません。

ですので、なるべく**「ムームードメイン」**などで

独自ドメインは契約するようにしましょう。

⇒[ムームードメインの申し込みはこちら](#)

⇒[X サーバーの申し込みはこちら](#)

最後までお読み頂き、ありがとうございました。

また、お会いする機会がありましたら嬉しいです ♪





## オウンドメディアについて

私の専門である「オウンドメディア」について話したいと思います。

ブログでライバルたちを出し抜くには、  
記事内容でも「独自性」を追求する必要がある。

そうすれば、さらにアクセスが安定してきます。

独自性を追求するのに、有効なのが「オウンドメディア」です。

「オウンドメディア」とは、独自のメディアを意味する言葉で、  
一般的には、ブログの事です。

このオウンドメディアは、単なるブログではありません。

ブログを使うのですが、内容は運営者の個性が反映され、  
「独自性」のある記事内容になります。

このオウンドメディアが凄いのは、  
無料で毎月、何十万人という集客が出来てしまうところです。

オウンドメディアに参入してないと、  
集客に毎月、何十万円という金額が掛かってしまう。





集客が上手くできれば、あとはどうとでもなります。

メルマガに登録させても良いし、  
ブログで商品売る事も可能になる。

つまり、オウンドメディアに参入すれば、  
集客に困る事はなくなり、報酬も安定します。

このオウンドメディアのトップクラスになれば、  
毎月 100 万アクセス以上を集め、月収 500 万円を稼ぐ事も可能です。

有名な方と言えば、イケダハヤトさんとかですね。

たったひとつのブログだけで、毎月安定収入が入ってくるので、  
オウンドメディアの注目度は上昇中です。

これだけ聞いたら、あなたはオウンドメディアに  
興味を持ったのではありませんか？

でも、オウンドメディアで稼ぐのは簡単ではありません。

難易度が高い事は、間違いないです。





これは、オウンドメディアに限らず言える事ですが、  
成果が出る人と成果が出ない人の違いをご存じですか？

成果が出る人は、例外なく作業の継続が出来ています。

成果が出ない人は、作業の継続すら出来てません。

やはり、「作業の継続」が出来ない人は成果が出ない。

当たり前の事を言ってるように聞こえますが、  
本当に、「作業の継続」が出来る人がほとんどいないのです。

しかし、安心して下さい。

私はその原因を特定し、解決策もわかりました。

「独自性」のあるオウンドメディアを使って、  
「作業の継続」ができるようになる方法があるのです。

この方法を知りたいですか？

どうしても知りたい方は、私のメルマガに登録して下さい。

メルマガ読者限定で、その方法を教えます。

⇒[オウンドメディアで戦略的アフィリエイト](#)





作者 : マクシミリアン

メールアドレス : [anti@affiliate-datsusara.com](mailto:anti@affiliate-datsusara.com)

メールマガジン : <http://affiliate-datsusara.com/web/merumaga-a.html>

ブログ : 「オウンドメディアで戦略的アフィリエイト」 <https://affiliate-datsusara.com>

